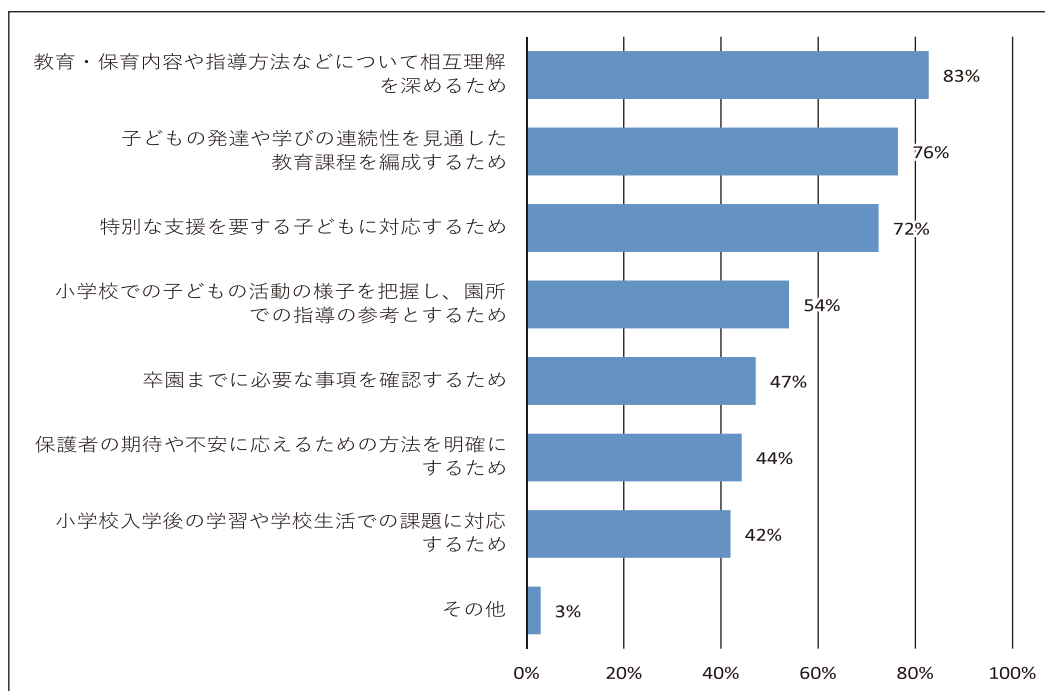


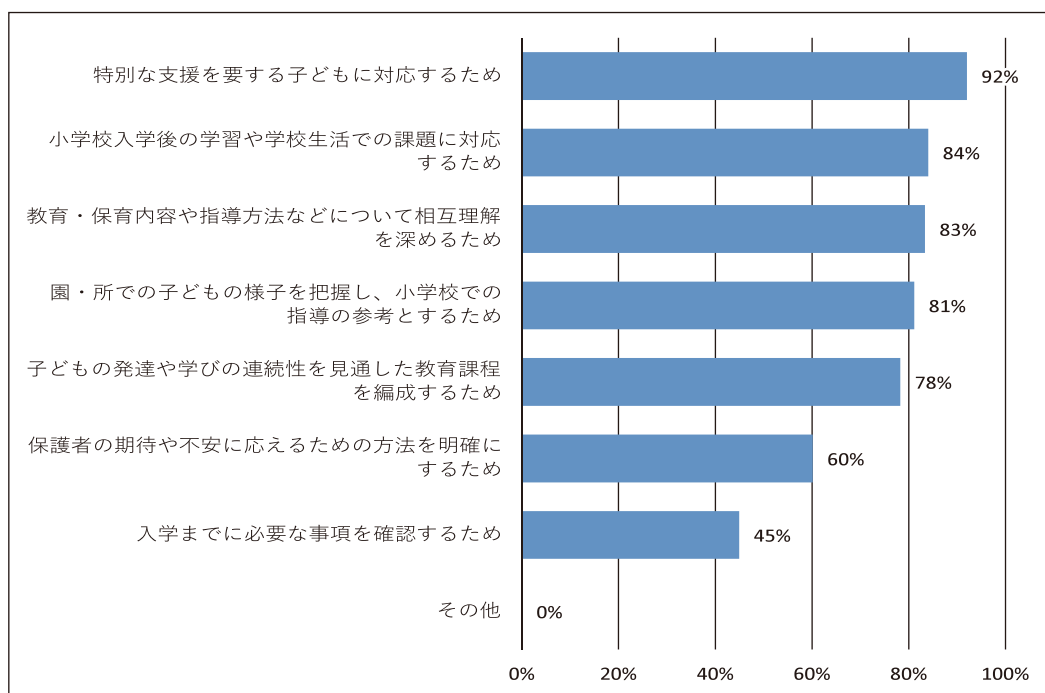
## 4 保幼小連携・接続

### (1) 現状

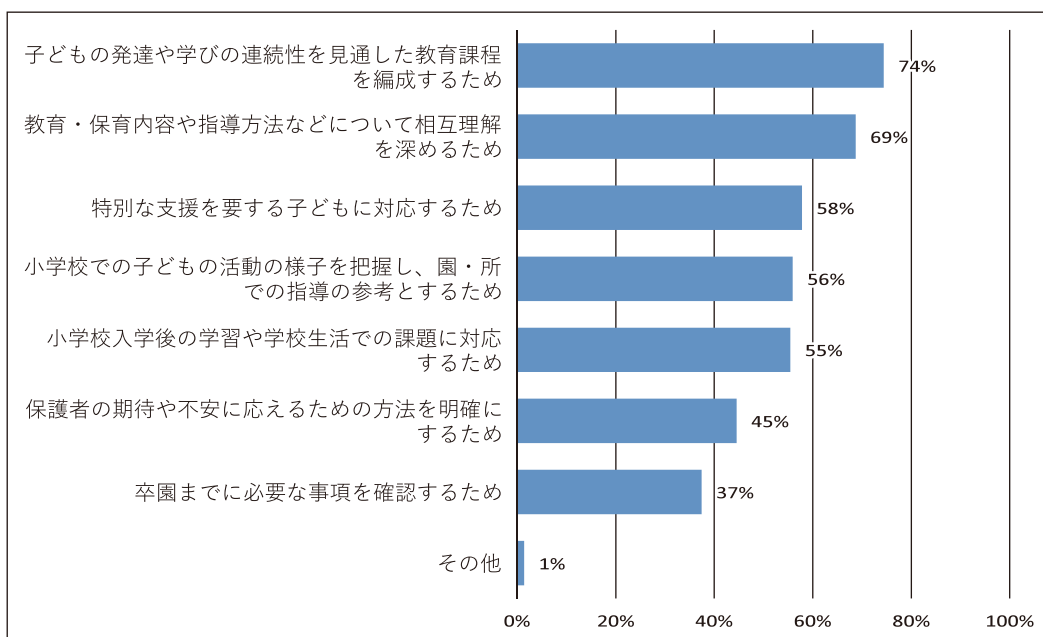
#### ①保幼小連携・接続の意義



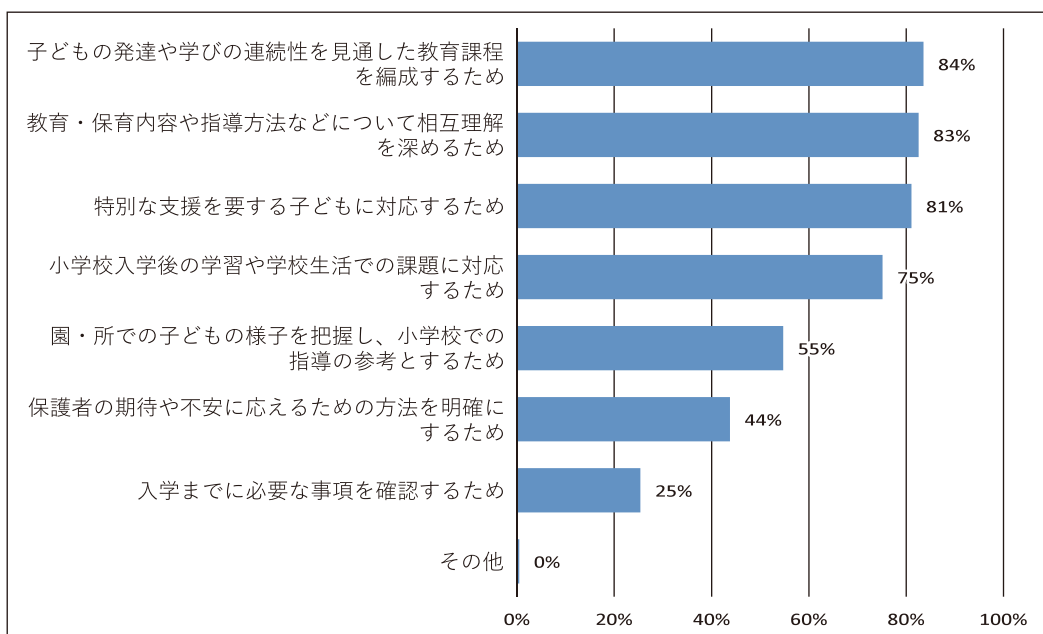
【園長・所長174件 回答 あてはまるもの全て選択】



【校長138件 回答 あてはまるもの全て選択】



【年長児担任211件 回答 あてはまるもの全て選択】



【1年生担任201件 回答 あてはまるもの全て選択】

保幼小連携・接続の意義について、幼稚園・保育所・認定こども園及び小学校のいずれも

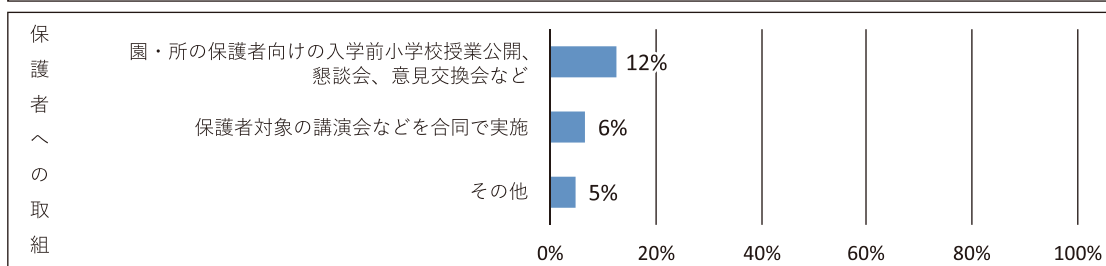
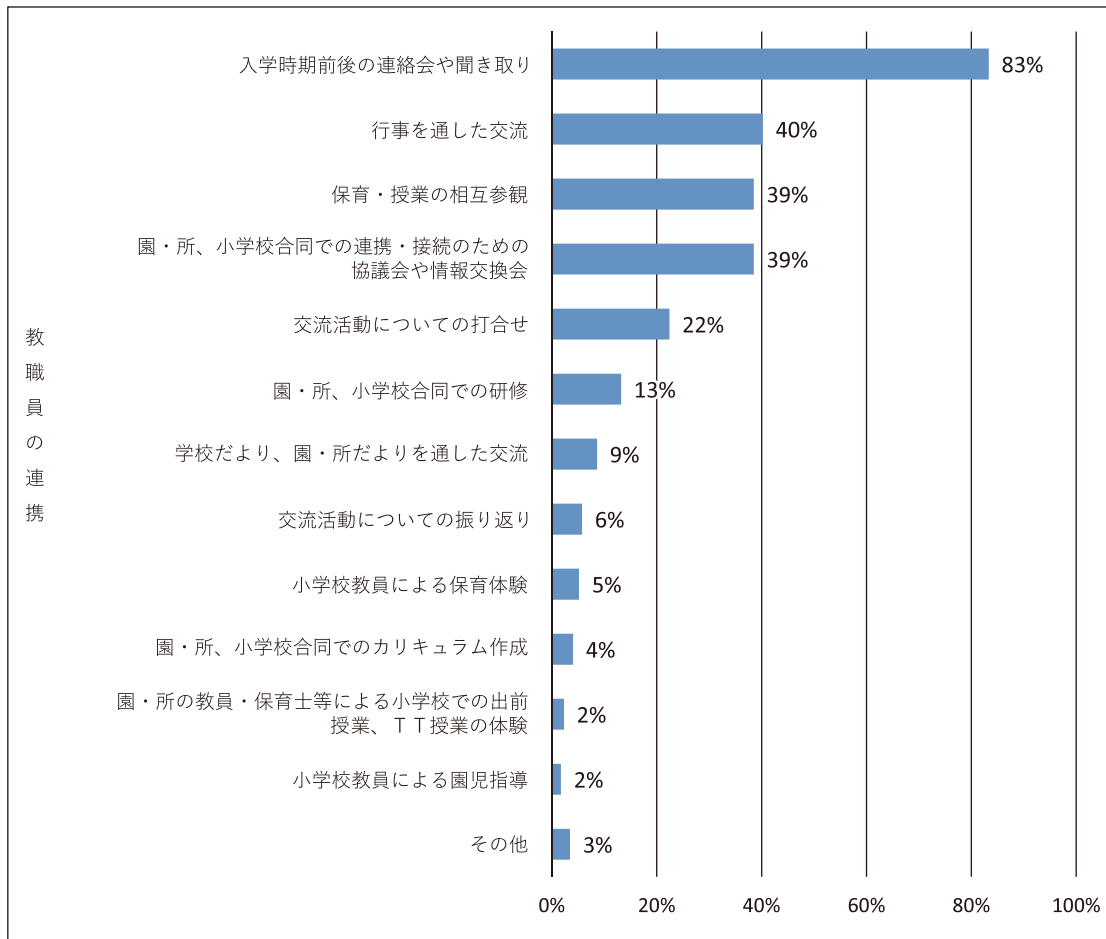
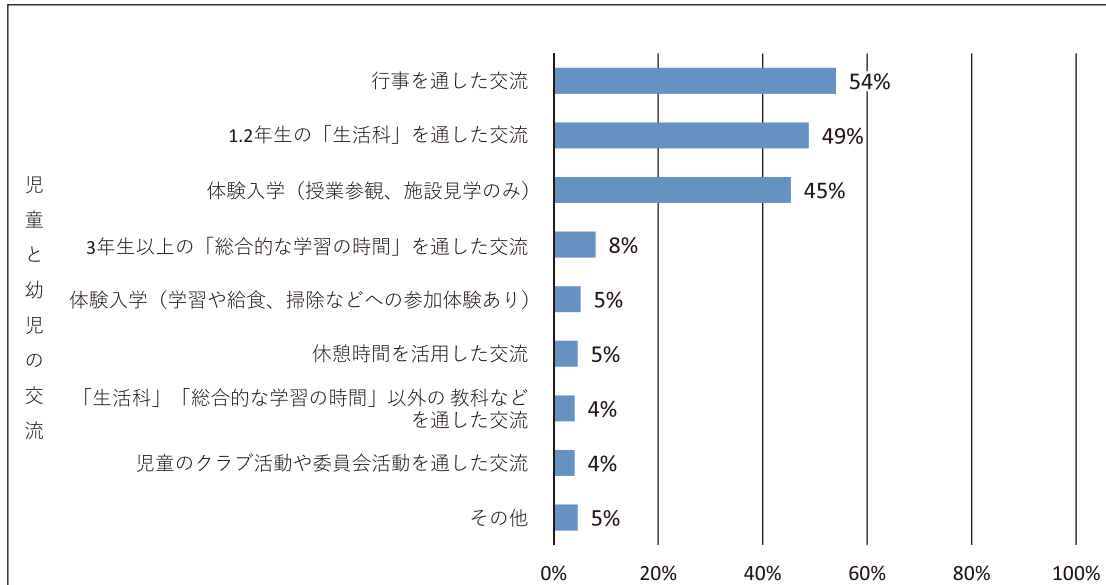
- ・「子どもの発達や学びの連続性を見通した教育課程を編成するため」
  - ・「教育・保育内容や指導方法などについて相互理解を深めるため」
- を上位、もしくは高い率で選択しています。

また、

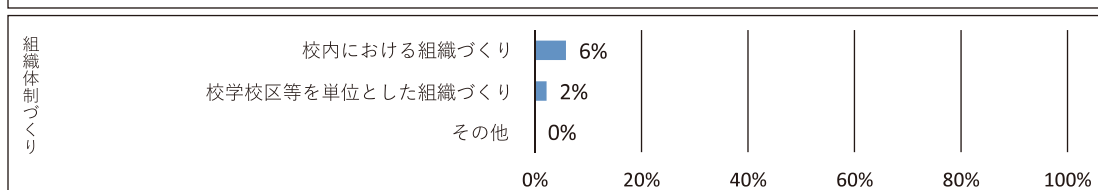
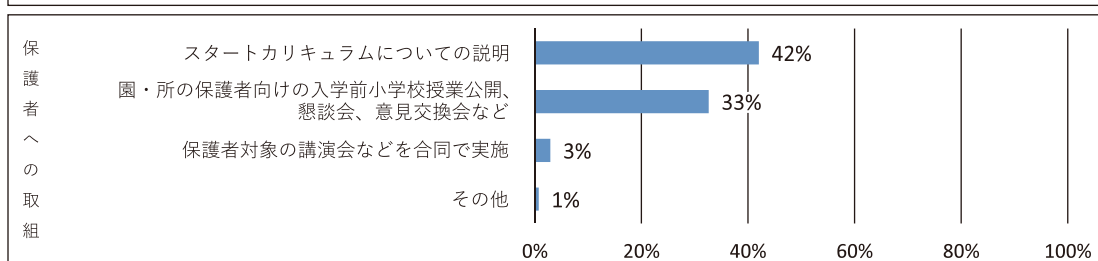
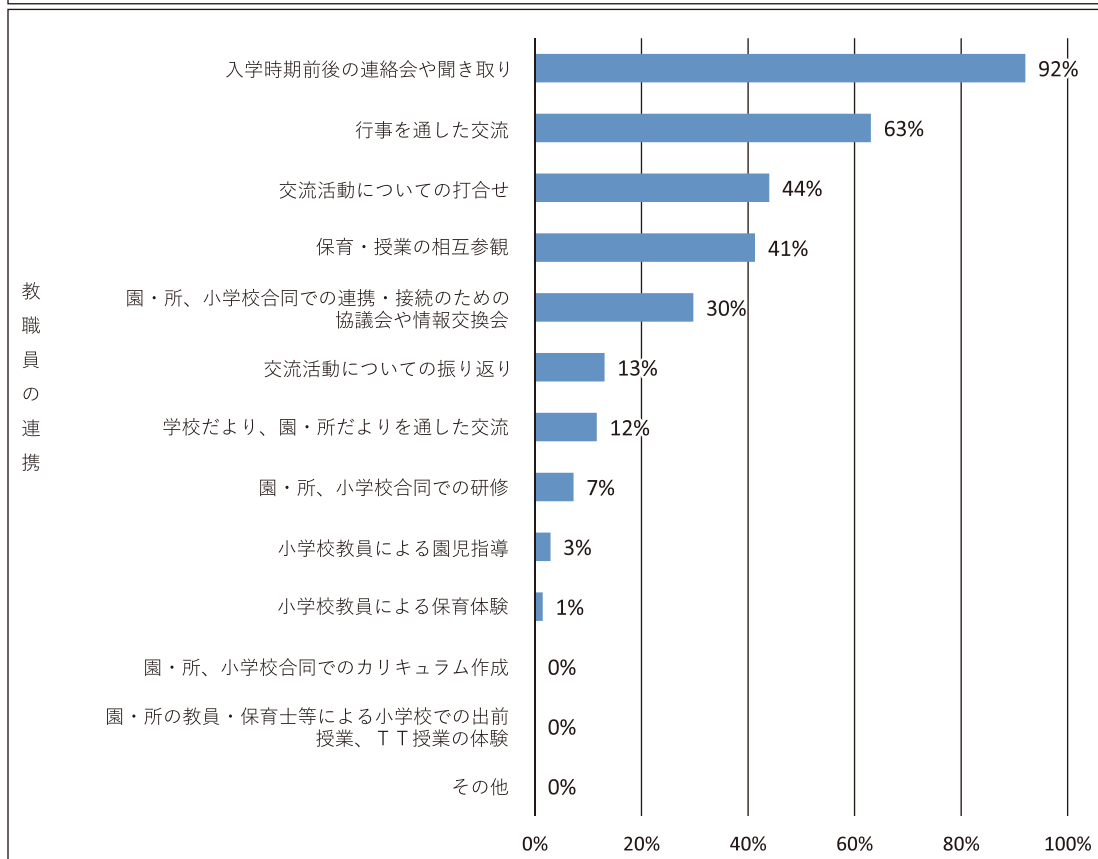
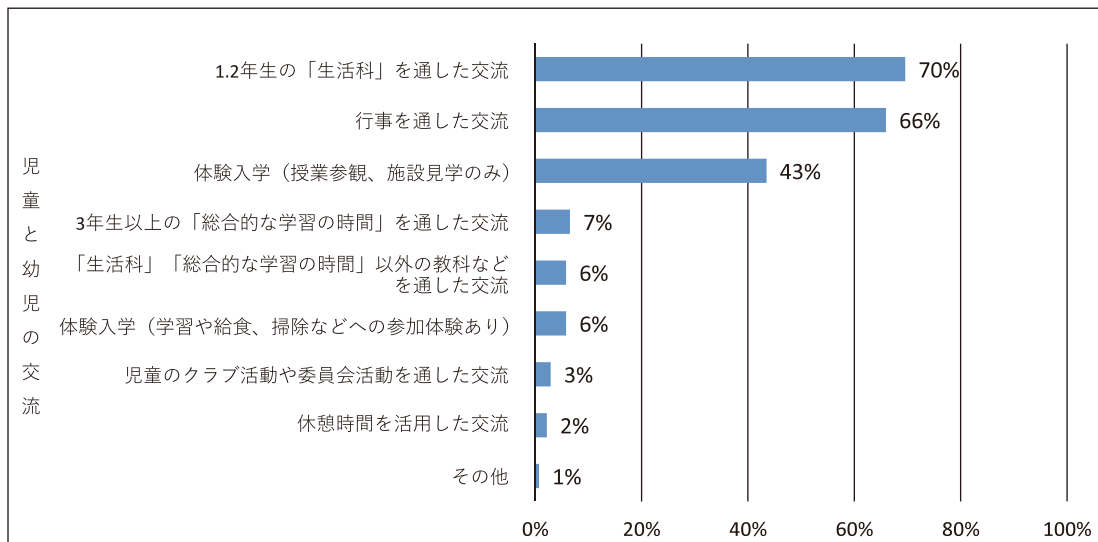
- ・「特別な支援を要する子どもに対応するため」

についても同様ですが、特に小学校においては、校長の回答が1位、1年生担任の回答が3位となっており、現在学校が直面する課題（P8～P9参照）への対応という点からも保幼小連携・接続の必要性が高まっています。

## ②連携・接続の取組内容



【園長・所長174件 回答 あてはまるもの全て選択】



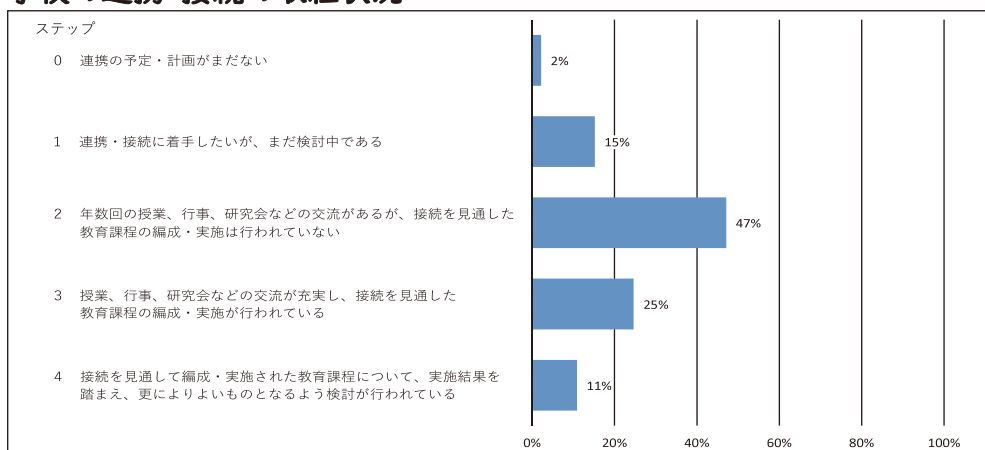
【校長 138 件 回答 あてはまるもの全て選択】

児童と幼児の交流として、「行事を通じた交流」「1,2年生の「生活科」を通じた交流」「体験入学」を、多くの学校で実施しています。

また、教職員の連携としては、「入学時期前後の連絡会や聞き取り」は、ほとんどの学校等で実施されています。また、行事を通して交流し教職員同士の連携を図っている学校等もあります。

一方で、保護者への取組を進めている学校等は少なく、また、小学校における、保幼小連携・接続に関わる組織体制づくりが進んでいない状況が見られます。

### ③小学校の連携・接続の取組状況

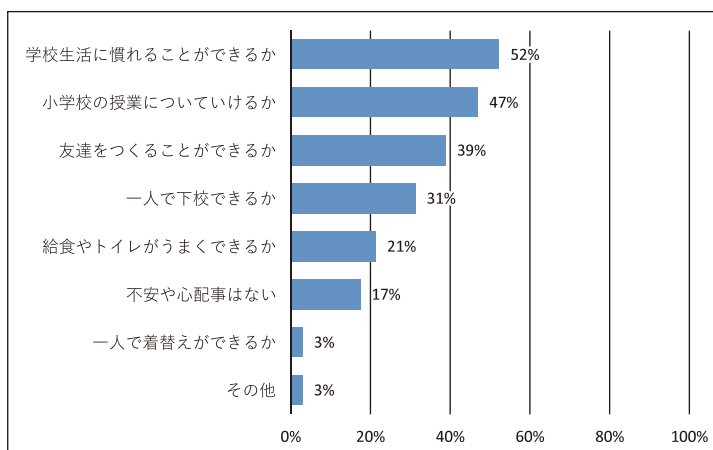


【校長138件 回答】

小学校の連携・接続の取組については、6割を超える学校が、ステップ0～ステップ2の段階に留まっている状況です。

### ④就学への保護者の心配事

幼稚園・保育所・認定こども園の保護者の内、「不安や心配事はない」の回答は17%であり、多くの保護者は、学びや生活環境が変わる小学校への入学に何らかの不安を感じています。



【年長児保護者1,409件 回答 あてはまるもの全て選択】

#### (2) 課題

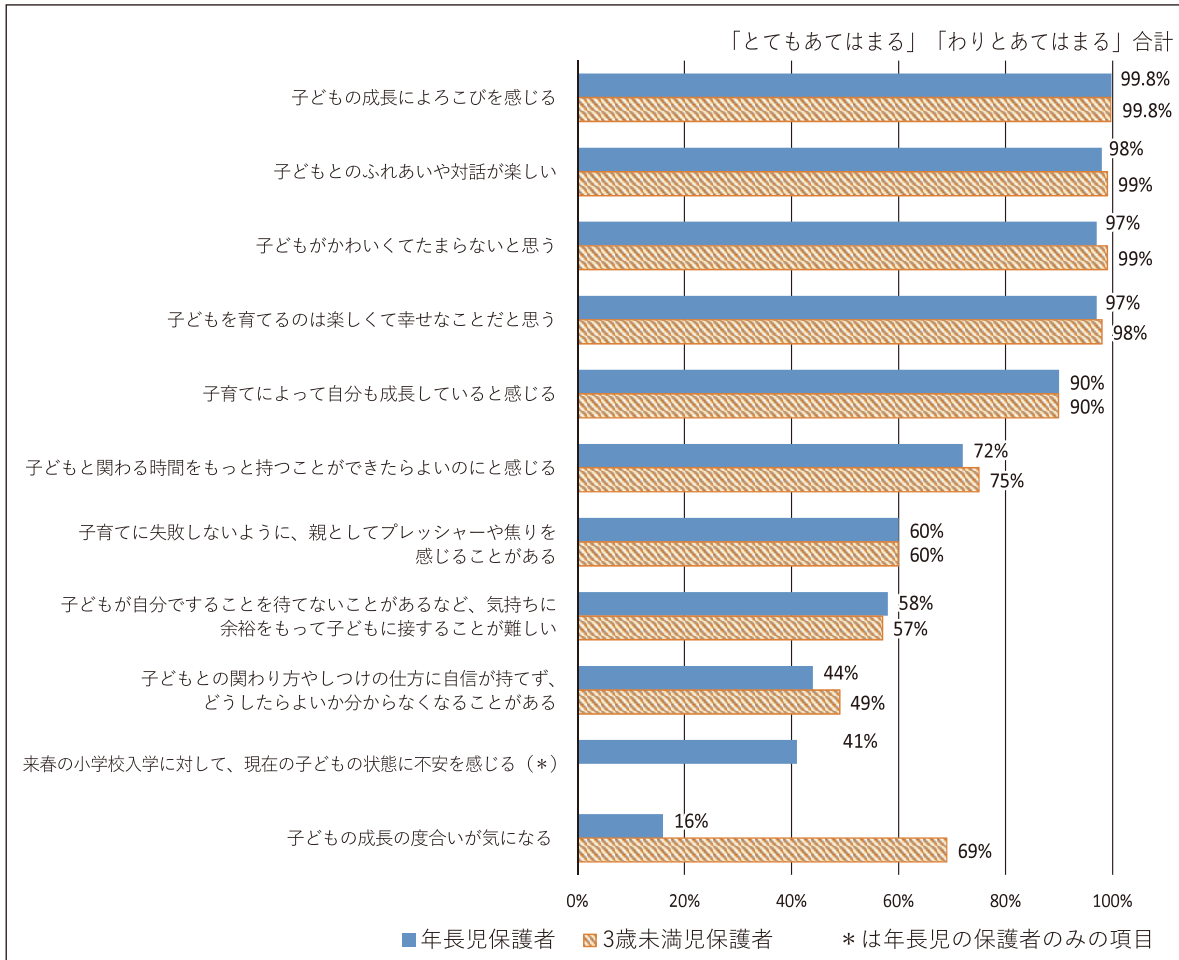
幼児期の学びを小学校教育に活かし接続するという保幼小連携・接続の意義については、関係者間で共有され、人的交流などの取組がなされていますが、教育課程の編成など、具体的な取組がシステムとして十分に確立されていない状況であり、その対応を検討する必要があります。

併せて、就学に不安を感じている保護者へのきめ細かな対応も求められています。

## 5 家庭における子育て・教育、子育て支援

### (1) 現状

#### ①保護者の子育てで感じていること

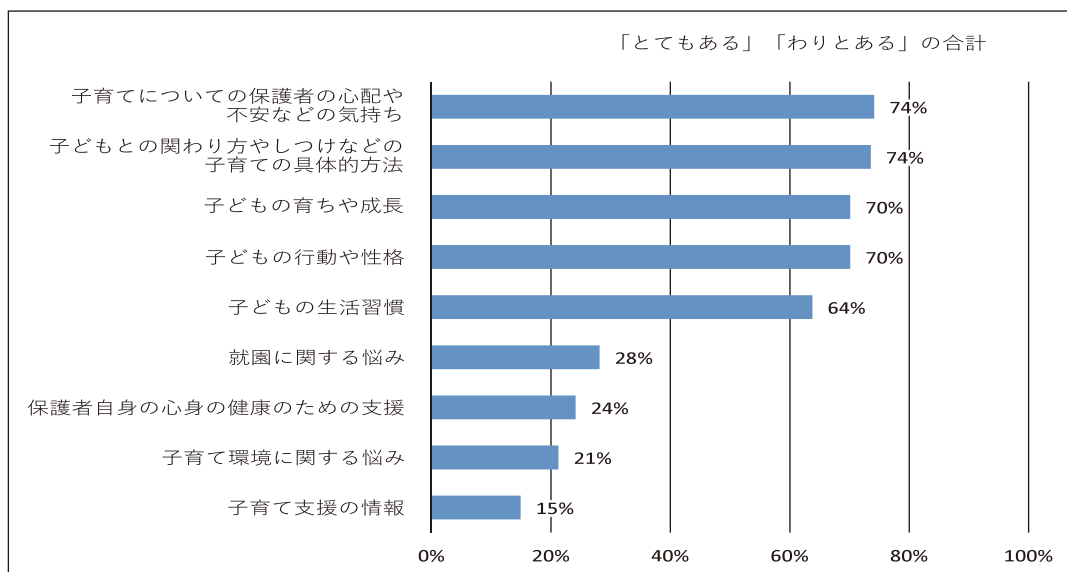


【年長児保護者1,409件・3歳未満児保護者1,462件 回答 あてはまるもの全て選択】

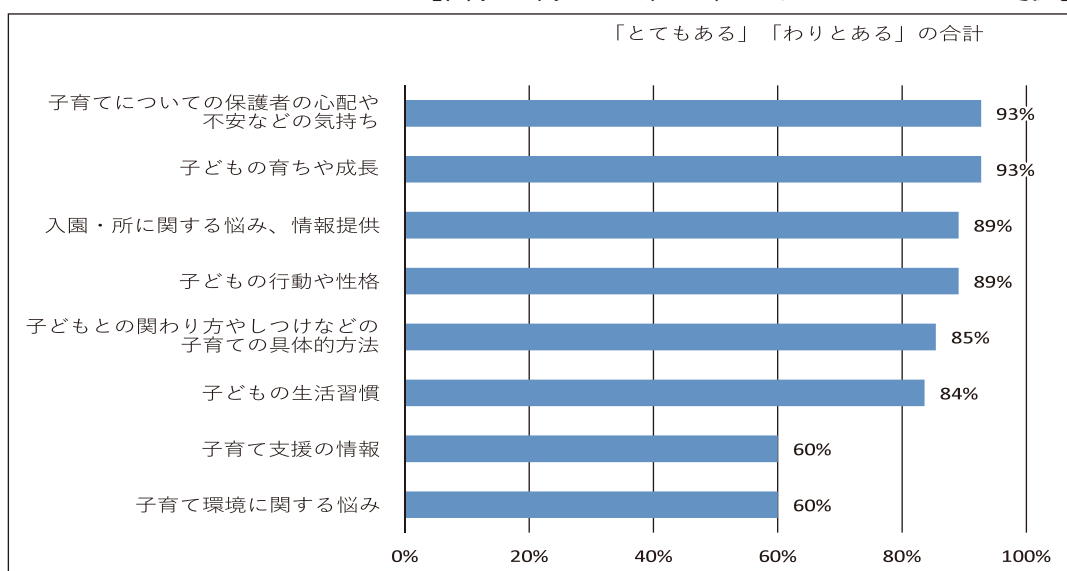
本県の年長児・3歳未満児の多くの保護者が、「子どもの成長に喜びを感じる」「子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」「子どもとのふれあいや対話が楽しい」「子どもがかわいくてたまらないと思う」と感じています。また、「子育てによって自分も成長している」と感じており、育児を楽しみ、育児が自己成長につながっていると感じている保護者が多いと解釈できます。

注目したい点として、3歳未満児保護者は、「子どもの成長の度合い」が気になっており、これは、低年齢の幼児ほど保護者はその成長に思い悩むことがあることを示しています。

## ②保護者からの相談内容



【園長・所長174件 回答 あてはまるもの全て選択】



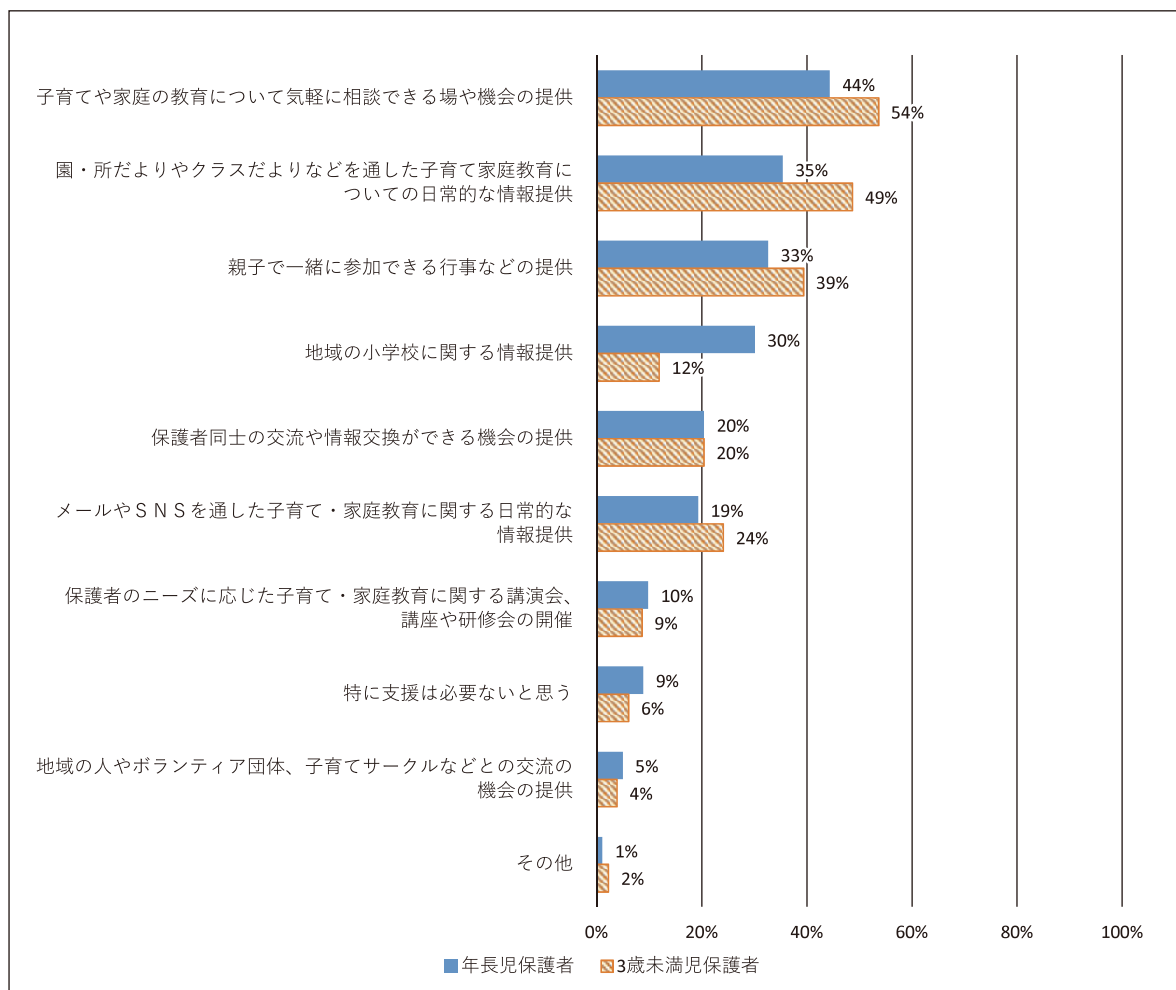
【子育て支援施設55件 回答 あてはまるもの全て選択】

幼稚園・保育所・認定こども園は、保護者から多岐にわたる様々な相談を受けていることが分かります。

幼稚園等には、「子育てについての保護者の心配や不安などの気持ち」「子どもとの関わり方やしつけなどの子育ての具体的方法」「子どもの行動や性格」「子どもの育ちや成長」「子どもの生活習慣」といった内容の相談が、保護者から寄せられていることが分かります。幼児の育ちの状況に関する具体的な相談が中心であると言えますが、一方、「子育てについての保護者の心配や不安などの気持ち」についても多くの相談が寄せられています。このことから、幼稚園等には、保護者の心配な気持ちに寄り添う支援が求められていると言えます。

子育て支援施設には、幅広い相談が寄せられている状況がうかがえます。特に「入園・所に関する悩み、情報提供」が多い様子が見られます。子育て支援施設は、入園・所前の幼児の施設入所に関する相談役としての重要な役割を果たしています。

### ③子育てや家庭教育に対し、幼稚園・保育所・認定こども園に期待する支援



【年長児保護者1,409件・3歳未満児保護者1,462件 回答 あてはまるもの3つまで選択】

保護者からの幼稚園等に対し、主に「子育てや家庭の教育について気軽に相談できる場や機会の提供」「園・所だよりやクラスだよりなどを通した子育て家庭教育についての日常的な情報提供」「親子で一緒に参加できる行事などの提供」等の支援を期待しています。また、年長児保護者は、先に「保幼小連携・接続」で示したとおり就学に不安を感じており(P12参照)、「地域の小学校に関する情報提供」を求めています。

#### (2) 課題

幼稚園・保育所・認定こども園に通う幼児の年齢や一人ひとりの個性等によって、保護者が求める情報や支援は異なることから、きめ細かな対応が必要となります。

このため、家庭・地域・幼稚園・保育所・認定こども園、関係機関等の相互の連携を更に強化する必要があります。



## 【本県における幼児教育の充実に向けた課題】

以上、本県の幼児教育の実態把握に関する調査や推進委員会等での議論、幼児教育の国の動向を踏まえ、本県における幼児教育の充実に向けてた課題を次のように捉え、まとめました。

- 1 幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っていることから、幼稚園教育要領等に基づき、各幼稚園・保育所・認定こども園の創意工夫を生かした質の高い教育実践が求められています。本県の幼児教育において、幼児の学びや育ちの良さを伸ばし課題に対応する中で、幼児一人ひとりの健やかな成長を実現するためには、更に、幼児教育の内容・方法の改善・充実を図る必要があります。
- 2 保育者は、幼児教育の内容や方法等に課題を持ちながら、日々の実践に当たっています。幼児教育現場の働き方において、保育者一人ひとりの保育の質を高めるための学びの機会を確保する難しさがあるのが現状です。幼児の育ちを巡るめまぐるしい環境の変化等に対応しながら、質の高い幼児教育を推進するためには、保育者の資質及び専門性の向上を図るために実効性のある取組を推進する必要があります。
- 3 多くの幼稚園・保育所・認定こども園において、特別な配慮を必要としている幼児への対応を行っていますが、その理解と組織的な取組に課題があります。専門機関や関係機関と連携し、幼児の実態に応じた切れ目ない適切な支援を行うことができるよう、特別な配慮を必要とする幼児への幼児教育の充実を図る必要があります。
- 4 保幼小連携・接続について、交流活動や聞き取り等が進んでいる一方で、発達の特異性や学びの連続性を踏まえた接続に至っていない状況にあります。生きる力の基礎となる幼児教育の成果を小学校教育に円滑につなげることができるよう、保幼小接続カリキュラムの必要性について、理解を図るとともに、その取組の充実を図るために、保幼小連携・接続を推進していく必要があります。
- 5 子育てには多様な悩みや課題があります。幼児一人ひとりの健やかな成長のためには、関係者が協力・連携し合い、課題に寄り添った支援をする中で、それぞれの教育力を高めることが重要です。関係機関と連携し、体制を整備し、家庭、地域がそれぞれの教育機能を発揮し、幼児教育の充実を図る必要があります。
- 6 幼児教育の充実と質の向上のための取組を持続可能なものとするため、幼児教育推進体制の強化・充実を図る必要があります。